

深地層の研究施設を使用した試験研究成果に基づく当該施設の理解促進事業費

令和4年度予算額 1.6億円（3.2億円）

事業の内容

事業目的・概要

- 深地層*1の研究施設*2等を活用した学術研究に対して補助金を交付します。
- これまでに、活断層地域における地震の発生機構、地下水圧等の観測、堆積岩中の微生物に関する研究等を実施しています。
- 当該施設を活用した学術研究を促進することにより、深地層の研究施設に対する地元等の理解を促し、高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する研究の円滑な実施を図ります。

*1:地下深くの地層。

*2:高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する深地層の科学的研究等を行うための地下施設。日本原子力研究開発機構が北海道幌延町で運営する施設。

成果目標

- 深地層の研究施設等を活用した学術研究成果の学会や論文等での発表及び理解活動（計80件以上）などを通じて、関連学術分野に貢献し、当該施設への地元理解を促します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）

国

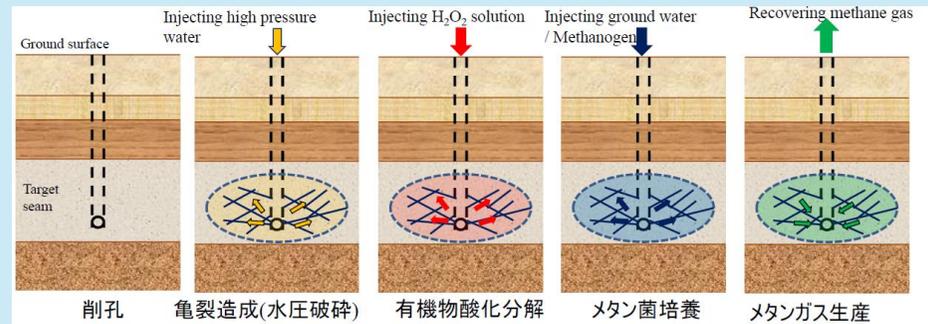


民間企業等

補助（定額(10/10)）

事業イメージ

バイオメタン鉱床造成／生産法の実用化

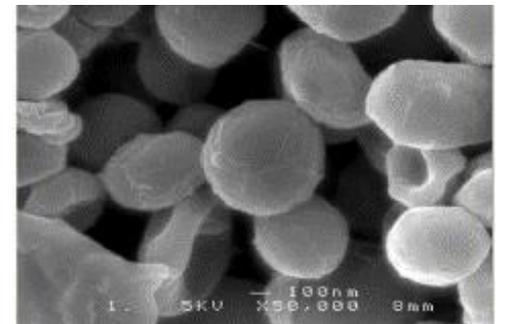


- **石炭層中でメタンガスを生成する微生物を培養し、ガスを生産**する実証実験の実施。
- **幌延の深地層の研究施設で取得した微生物**を用いて**メタン生成挙動を解明**。

堆積岩中の地下水やガスの地中移行及び微生物に関する研究



分析用地下水の採水作業



幌延の地下施設で発見された新種の微生物